

## 社会貢献活動の推進



### マテリアリティの中長期ビジョンと2021年度実績

|    | リスク                                                                                        | 機会                                                                                                                                      | 対応の方向性                                                                                                                          |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 長期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●異常気象などによる大規模災害の増加</li> <li>●経済発展の格差、不平等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時協力協定のさらなる拡大と災害時の速やかな支援体制の整備によるくらしの安心・安全の支援</li> <li>●地域のニーズに即した活動の継続による地域社会発展への寄与</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害発生時に電動車を速やかに提供し得る体制整備</li> <li>●従業員一人ひとりの技術・ノウハウおよび製品を活用し、地域社会の発展に継続的に取り組む</li> </ul> |

|    | 外部環境                                                                                        | ステークホルダーのニーズや期待                                                      | 中期目標                                                                                                                          |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中期 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●極端な気象現象による熱波や干ばつ、大雨による洪水などの災害が世界各地で相次ぎ発生</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急時災害支援および復興支援の期待</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時協力協定の締結推進</li> <li>●「STEP」の分野で従業員一人ひとりの技術・ノウハウおよび製品を活用した社会貢献活動に継続的に取り組む</li> </ul> |

| 項目                       | 2021年度目標・実績                                                        | 自己評価 |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------|------|
| 社会課題や地域ニーズに即した、継続的な活動の推進 | 災害時協力協定の締結数拡大<br>目標：150件<br>実績：190件                                | ○    |
|                          | 「STEP」分野における活動の推進<br>目標：ニューノーマルに対応した活動の継続実施<br>実績：施策のオンライン化検討および実施 | ○    |

○：計画通り △：遅れあり

### 基本的な考え方・方針

三菱自動車のビジョン・ミッションにもとづき策定した社会貢献活動方針に則して、当社プラグインハイブリッド車（PHEV）の特長を活用した災害時協力協定締結などの活動を推進しています。

2022年度はPHEVの災害時における有効性をより多くの方に知っていただくため、全都道府県の自治体と災害時協力協定の締結を目指すほか、当社グループ会社との連携を強化し、より一層地域ニーズに即した活動を行っていきます。

### 社会貢献活動方針

三菱自動車は、「STEP」地域社会（Society）『交通安全（Traffic safety）』『環境（Environment）』『人（People）』の分野で、多様化する社会の課題に応えるため、従業員ひとりひとりの持つ技術やノウハウ・製品を活用した継続的な社会貢献に取り組むことで、よりよい未来を描くことができる社会をめざします。



## 社会貢献活動ロゴマーク

STEPの分野の活動の輪が中心から広がる様子を表現しています。



### 2021年度の社会貢献支出額・内訳（※1）（単位：百万円）

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 地域社会                 | 9   |
| 交通安全                 | 5   |
| 環境                   | 236 |
| 人                    | 95  |
| 被災地・新型コロナウイルス感染症対策支援 | 260 |
| 支出額合計                | 605 |

※1：寄付金のほか、現物給付・施設開放などを金額換算したものを含む

### 2021年度の社会貢献活動参加人数と活動時間（※2）

|         |            |
|---------|------------|
| 従業員参加人数 | 延べ 50,576人 |
| 従業員活動時間 | 32,228時間   |

※2：就業時間内の活動

## 地域社会 (Society)

### DENDOコミュニティサポートプログラム

災害時協力協定や新型コロナワクチン巡回接種用車両の貸与など、自ら発電し、その電力を取り出して使うことができる「三菱のPHEV」を活用した自治体への支援活動を行っています。

「PHEVの走るチカラと電気のチカラ」で、人々のくらしの安心・安全を支えます。

詳細は、P21特集ページおよびWEBサイトをご覧ください。

(WEB) <https://www.mitsubishi-motors.co.jp/carlife/phev/dcsp/>



災害時協力協定

### 「マスプロダクツ型排水ポンプ実証試験」に参加

全国に設置される排水施設は老朽化により、今後、設備の更新が見込まれます。また、近年の水害被害を受け、排水施設の新設・増設の要望が高まる中、設置のためのコスト削減が課題となっています。この解決に向け、国土交通省の主導により排水施設で使用するポンプの動力源として量産エンジンを活用することで、コストを縮減しながら効率的に排水施設の更新を行う手法や技術開発の検討を目指した実証試験が行われ、三菱自動車は『デリカD:5』用ディーゼルエンジンを動力源として提供することにより参加しました。



2022年2月に茨城県つくば市にある国立研究開発法人土木研究所で行われた実証試験では、ディーゼルエンジンの駆動力で排水ポンプを駆動させ、試験施設内のため池の水を排水することに成功しました。



『デリカD:5』用エンジンを動力源として排水ポンプを駆動 実証試験時の排水の様子

### 「災害停電時マンホールポンプ起動支援システム」の共同研究に参加

近年、風水害の多発により、停電に伴うマンホールポンプの稼働停止が増加し、社会問題となっています。当社はこの解決に向け、災害による停電時に送水が必要なマンホールポンプを起動させる電源として、電気自動車やプラグインハイブリッド車など、電動車の活用を目指した「災害停電時マンホールポンプ起動支援システム」の共同研究に、2021年9月から参加しています。

本研究では、共同研究者であるポンプメーカーなどとともに、脱炭素社会への貢献に向け、電動車、太陽光発電、可搬式蓄電池を組み合わせたシステムの開発を目指し、川崎市や浜松市で実証試験を行っています。このシステムを構築し、環境にやさしく、人々のくらしの安心・安全に貢献できることを目指していきます。



プラグインハイブリッド車からの給電試験の様子

## 交通安全 (Traffic safety)

### 交通安全教室「クルマの学校」を実施

三菱自動車は、交通安全について参加者のみなさんと一緒に考え、一緒に学び、一緒に楽しむ、「クルマの学校」を実施しています。

2021年度は運転時の誤操作による交通事故低減を目指し、運転に必要な注意力などを測定する「運転能力診断」やセーフティサポートカー（サポカー）の踏み間違い衝突防止アシスト機能を体感する「サポカー同乗試乗」などを実施しました。コロナ禍の情勢を鑑み、感染防止に配慮したうえで、岡山県矢掛町で開催した「クルマの学校」は12人が受講しました。また、2022年4月には水島製作所で開催し、約40人が受講しました。



サポカー同乗試乗の様子

### 事業所地域における交通安全活動

事業所周辺道路において、従業員による通勤・通学時間帯の交通安全立哨や、地域の交通安全協会および警察



従業員による交通安全立哨の様子

署連携のもと実施するパトロール隊へ参加しています。パトロール隊の活動では、交通安全の呼びかけのほか、地域巡回、事故が発生しやすい危険な場所の確認、交通安全施設の点検などを定期的に行っています。

2021年度は各事業所合計で19回、延べ398人の従業員（社員）が活動に参加しました。

### 子ども向け交通安全啓発

#### ウェブサイト「みんな知ってる？交通安全クイズ」

子ども向けの自動車産業学習用ウェブサイト「なぜ？なぜ？クルマづくり調査団」内に、交通安全に関するページを設け、歩行中や自転車乗車中など、日常生活における交通ルールやマナーをクイズ形式で紹介しています。



「みんな知ってる？交通安全クイズ」

(WEB) <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/contribution/people/kids/anzen/>

## 環境 (Environment)

### 森林保全活動

首都圏の水源を守るとともに従業員の環境意識を醸成することを目的に、公益財団法人オイスカと協働し、山梨県早川町において、森林保全やボランティア活動を通じた地域との交流に取り組んでいます。



2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従業員によるボランティア活動は中止しましたが、苗木が育つために必要な下草刈りは実施しました。

なお、当社は林野庁が主催する「森林×脱炭素チャレンジ2022」において、森林整備を通じて脱炭素に貢献する企業として「グリーンパートナー 2022」に認定されました。



植樹したエリアの下草刈り



森林整備を通じて脱炭素に貢献する「グリーンパートナー 2022」

### タイで「MMTh 60周年記念、60ライ森林再生プロジェクト」を開始

2021年9月、ミツビシ・モーターズ（タイランド）・カンパニー・リミテッド(MMTh)とNPO法人ミツビシ・モーターズ・タイランド・ファンデーションは、タイ王室森林局およびタイ国家温室効果ガス管理機構と共同で「MMTh60周年記念、60ライ森林再生プロジェクト」を開始し、チョンブリ県とサケーオ県の計60ライ（約9.6ha）の森林に合計12,000本の植林を行いました。また、この取り組みが認められ、タイ王室森林局の「森林再生&森林資源開発」部門賞を受賞しました。



2回にわたり植林を実施



苗木を積み活動地へ向かう『トライトン』



ターゲット  
● 10.2ターゲット  
● 11.5ターゲット  
● 13.1ターゲット  
● 15.4

## 人 (People)

### 小中高生への教育支援

次世代を担う子どもたちへの教育支援として、小学生を対象に生産現場を体感できる工場見学の受け入れや、従業員が小学校を訪問して授業をする体験授業プログラム、中高生が将来について考え、視野を広げるためのキャリア教育学習を実施しています。

2021年度はコロナ禍により、リモートによる方法も取り入れて実施し、約28,200人の小中高生が参加しました。



小学生の工場見学



中学生のリモート企業訪問

### 専門学校や美術大学と産学共同プロジェクトを実施

三菱自動車はカーデザインを希望する学生の育成支援として、2021年4月より専門学校HAL カーデザイン学科、および多摩美術大学生産デザイン学科と産学共同プロジェクト（授業）を実施しました。当社デザイナーがオンラインで指導を行い、学生たちは10年後の未来を想定し、ポジティブで冒険心を持った当社ユーザーに向けて電動化技術、4WD技術を生かした新しいライフスタイル・モビリティ



コンセプト立案からスケッチ展開のオンライン講義

ティの企画・提案を行いました。同プロジェクトでは、同年9月までに学生による最終プレゼンテーションを行い、グランプリ作品を決定しました。

### アジアにおける教育支援

タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、マレーシアにおいて、経済的な理由で学ぶことが困難な中高生や大学生への奨学金寄付や孤児院などへの学習ツールの寄贈を行うほか、自動車業界における質の高い人材育成を支援するため、教材車両の寄贈やインターンシップの受け入れなどを実施しています。また、コロナ禍においてもオンラインを活用し、積極的に支援を実施しています。

### マレーシアでコミュニティ学習センターへ『トライトン』を寄贈

2021年10月、ミツビシ・モーターズ・マレーシア（MMM）は、パハン州にある経済的に余裕のない人々のためのコミュニティ学習センター Dignity Farm School にピックアップトラック『トライトン』を寄贈しました。

Dignity Farm Schoolでは、自然農法や農業のスキルを習得できる青少年教育プログラムを実施しています。寄贈した『トライトン』は、農業活動やマレー半島の先住少数民族（オラン・アスリ）の通学に使用されます。



寄贈の様子



寄贈した『トライトン』

### フィリピンで職業訓練を実施

2021年5月～6月、ミツビシ・モーターズ・フィリピンズ・コーポレーション（MMPC）は、パターン・ペニンシュラ州立大学やラグナ・ステート・ポリテクニク大学など、合計22の大学や専門学校を対象に職業訓練を実施しました。MMPCは同年、国内の大学や専門学校と将来を担う若い世代の教育支援のための覚書を締結しました。コロナ禍においても学生が知識やスキルを身に付ける機会を逸さないよう、感染拡大防止対策としてオンラインで職業訓練を実施しました。



オンラインで行う職業訓練

### 「三菱自動車STEP募金」および「マッチングギフト」の実施

2009年4月に導入した「三菱自動車STEP募金」は、当社グループ会社の従業員が自らの意志で毎月、定額を募金し、継続的に社会貢献活動に参加する仕組みです。この募金は、当社の社会貢献活動方針にもとづき、開発途上国や東日本大震災被災地における活動などを支援しています。また、従業員の社会貢献意欲を大切にすると共に、より多くの支援につなげるため、「三菱自動車STEP募金」が行った寄付に対し、会社が同額を寄付する「マッチングギフト」を実施しています。

なお、募金およびマッチングギフトの支援先は、当社の社会貢献活動方針の重点分野との合致、事業の継続性、定



期的な活動報告、実績などを参考に選定しています。支援先による従業員向け報告会を開催するなど、支援先と対話しながら活動につなげています。

これらの支援を通じ、地域のニーズに即した活動を継続し、地域社会の発展へ寄与すること目指しています。

#### 支援先

- 国際NGOワールド・ビジョン・ジャパン
- 公益財団法人みちのく未来基金
- 公益財団法人オイスカ
- 事業所近隣の幼稚園、保育園、小学校など

### 「森の積み木」プロジェクトを実施

子どもたちに木の温もりを感じながら、創造性を働かせて遊んでもらうことを目的に、三菱自動車が森林保全活動を行う山梨県早川町を中心とした地域のヒノキの間伐材で作った積み木を当社事業所近隣の幼稚園、保育園などに寄贈しています。

また、従業員自身が縁のある幼稚園などへ積み木を贈る「従業員プレゼンター制度」を実施しています。

2021年度は60カ所に寄贈し、2010年からの累計は465カ所となりました。



ヒノキの間伐材で作った積み木

### 被災地支援

自然災害などの緊急事態に際し、義援金の拠出、車両の無償貸与や従業員によるボランティアなど、様々な支援を行っています。

ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・セールス・インドネシア (MMKSI) は、2021年12月に発生したインドネシアジャワ島東部のスメル山噴火の被災地支援として、人道支援組織であるAksi Cepat Tanggap (ACT) と United Volunteer Otomotif (UVO) へピックアップトラック『トライトン』3台と『パジェロスポーツ』1台を提供するとともに、寄付金を贈りました。



被災地で活躍する『トライトン』

### 新型コロナウイルス感染症対策支援

新型コロナワクチン接種支援のため、自治体に『アウトランダー PHEV』を無償貸与しています。

ワクチンの円滑な接種のため、医療従事者の移動手段としてだけでなく、プラグインハイブリッド車 (PHEV) の給電機能を生かし、ワクチン輸送中の保冷剤冷却や、ワクチン接種会場のバックアップ電源としても活用いただいています。加えて、岡崎製作所の体育館をワクチン接種会場として貸し出しました。

海外の関係会社では、政府関連機関や医療機関などへ車両や医療機器の提供、金銭寄付などを実施しました。加えて、ロックダウン地域において貧困家庭への食料品寄付、孤児院へコロナ禍のオンライン学習ツールとしてパソコンや周辺機器の寄贈などを行いました。



ワクチン接種会場として貸し出し  
(岡崎製作所体育館)



医療機器を装備した『トライトン』  
(特装車)を提供(タイ)



ロックダウン地域における食料品  
寄付(ベトナム)

#### ◆新型コロナウイルス感染症対策への支援

(WEB) <https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/contribution/society/relief/covid-19/>

ターゲット  
● 10.2ターゲット  
● 11.5ターゲット  
● 13.1ターゲット  
● 15.4

## 2021年度の主な支援（災害および新型コロナウイルス感染症対策）

|          |               | 支援内容                                                                   | 支援先                                                         |
|----------|---------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 2022年3月  | ウクライナ人道的危機    | 100万ユーロを寄付                                                             | 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)                                        |
| 2022年2月  | フィリピン台風22号    | 100万ペソを寄付                                                              | フィリピン赤十字社                                                   |
| 2021年12月 | 新型コロナウイルス感染症  | ビタミン剤、マスク、消毒液などの入ったパッケージを寄付<br>患者の心拍や血圧などの情報をモニターできる医療機器2台を寄贈          | インドネシア ジャカルタ市内の病院<br>ベトナム ビンズオン省ズイーアンシティ保健センター              |
|          | インドネシア スメル山噴火 | 『トライトン』3台、『パジェロスポーツ』1台を提供、寄付金贈呈                                        | インドネシア 人道支援組織 Aksi Cepat Tanggap, United Volunteer Otomotif |
| 2021年11月 | 新型コロナウイルス感染症  | ・パソコン、プリンター、プロジェクター、インターネットデータプラン1年分などのオンライン学習ツール30セットを寄贈<br>・マスクなどを寄贈 | インドネシア ジャカルタ周辺地域の孤児院10軒                                     |
| 2021年10月 | 新型コロナウイルス感染症  | 食料品セットを寄贈                                                              | マレーシアの経済的に恵まれない子どもたち                                        |
|          |               | 医療用マスクや食料品などの生活必需品パッケージ合計1,000セットを寄贈                                   | インドネシア ジャカルタ周辺地域のワクチン接種会場5カ所                                |
|          |               | 医療器具や食事を寄付                                                             | ベトナム ロックダウン地域に住む人々、医療スタッフ、治安部隊                              |
| 2021年8月  | 新型コロナウイルス感染症  | ・『トライトン』1台、『アウトランダー』2台を貸与<br>・2万マレーシアリングギットを寄付                         | 非営利団体 Mercy Malaysia                                        |
|          |               | テント、テーブル、椅子、ポータブルエアコンユニットなど4.3万マレーシアリングギット相当を寄付                        | マレーシア 新型コロナウイルス感染症アセスメントセンター                                |
|          |               | 患者輸送用の特装車『トライトン』3台を提供                                                  | タイ Covid-19 Relief Effort by Rueng Lao Chao Nee             |
|          |               | 『トライトン』『エクスプレス』『アウトランダー』など計24台の車両を提供                                   | オーストラリア災害支援団体 Disaster Relief Australia                     |
| 2021年7月  | 新型コロナウイルス感染症  | 抗原検査キット 10,000キットを寄贈                                                   | インドネシア運輸省                                                   |
|          |               | 酸素濃縮装置 500セットを寄贈                                                       | インドネシア工業省                                                   |
|          |               | ・個人防護服 (PPE) 500セットを寄贈<br>・おもちゃ 300セットを寄贈                              | インドネシア 新型コロナウイルス感染症救急病院                                     |
|          |               | ワクチン接種支援車として、『アウトランダー PHEV』を貸与                                         | 岐阜県坂祝町                                                      |
| 2021年6月  | 新型コロナウイルス感染症  | ・『トライトン』1台を寄贈<br>・新型コロナウイルスワクチン購入費用などとして2億ベトナムドンを寄付                    | Binh Duong Fatherland Front Committee                       |
|          |               | ・パソコン、プリンター、プロジェクター、インターネットデータプラン1年分などのオンライン学習ツール30セットを寄贈<br>・マスクなどを寄贈 | インドネシア ジャカルタ周辺地域の孤児院10軒                                     |
|          |               | ワクチン接種支援車として、『アウトランダー PHEV』を貸与                                         | 北海道音更町、愛知県岡崎市、蒲郡市、滋賀県湖南市、岡山県倉敷市、総社市                         |
| 2021年5月  | 新型コロナウイルス感染症  | ・飲料水およびN95マスクを寄贈<br>・紙製の医療ベッド生産用としてダンボール10tを寄贈                         | タイ 医療機関                                                     |
|          |               | ワクチン接種支援車として、『アウトランダー PHEV』を貸与                                         | 東京都港区                                                       |
| 2021年4月  | 新型コロナウイルス感染症  | 『アウトランダー PHEV』3台を寄贈                                                    | インドネシア保健省、国営企業省 (BUNM)、インドネシア赤十字社                           |